



大学 日语

● 下册 (各科通用)
● 主编 张我为 吴宣刚

吉林教育出版社

大学日语 下册(各科通用)

张我为 吴宜刚 主编

责任编辑: 张岩峰

封面设计 徐欣

出版: 吉林教育出版社 850×1168毫米32开本14.25印张2插页325,000字
1988年6月第1版 1988年6月第1次印刷
发行: 吉林省新华书店 印数: 1—8,009册 定价: 3.65元
印刷: 延边新华印刷厂 ISBN7—5383—0456—8/G·433

编写说明

本书是大专院校公共日语课教材《大学日语》的下册,供2年级两个学期使用。内容安排如下:

一、全书共30课。每课由课文、生词、语法解说、练习等四部分构成。每课的教学时间视内容和学习者的程度而定。平均4至6课时学完1课。每5课为1单元,每1单元结束时可进行一次单元总复习或单元测验,以利所学知识和技能的巩固和深化。

二、教材内容是提高教学质量的基础,也是打好语言基础的关键。为了适应自然科学、技术科学和社会科学互相渗透、交叉发展、专业信息多向性的趋向,在内容上,我们选编了政治经济、科普常识、日常生活和通俗文艺等方面的短文。这种宽领域的选材比专业倾向过窄的内容更有利于文理互通和语言共核教学。选材时注意到题材、体裁的多样性,内容的思想性、知识性、趣味性和哲理性。

所选课文除注意到语言规范、常用词和词组以及常用句型的复现率外,每课都有两三个结构比较复杂、内容较费解的句子,目的在于通过有一定难度的课文,不断提高学生的水平和独立理解句子的能力。

三、在使用本教材时,重点要放在阅读技能的训练上,同时兼顾听、说、译、写能力的培养。基于此,要通过各种手段扩大学生的词汇量,使其牢固而熟练地掌握常用词和词组以及常用句型并做到会用。

四、“语法解说”栏,只对课文中的重点和难点进行说明;“练习”栏中,增加了几篇读解项目。通过读解,一方面可培养学生综合运用知识和应试的能力,另一方面也可扩大学生的视野

和词汇量。这是培养学生阅读技能的一种良好形式。

本书由东北师范大学的张我为、白求恩医科大学的吴宣刚主编。参加编写的还有：吉林工业大学的杨文有、东北师范大学的张群舟、延边农学院的方哲勋。编写中曾得到吉林省教育委员会、吉林省公共外语教学研究会的支持和帮助。此外，曾在东北师大任教的小林幸江先生参加了部分审稿工作。在此一并表示诚挚的谢意。

编者水平有限，缺乏经验，难免有疏漏和不妥之处，希望同行专家、读者批评指正。

编写者

1987年6月1日

目 录

第一课	どのとうにレポートを書くか……………	(1)	70
语法:	一、～かわりに……………	(6)	
	二、～てくれる……………	(6)	
第二课	「オアシス運動」を推進しよう……………	(10)	55
语法:	一、～においても～においても……………	(14)	
	二、～とばかり(に)……………	(15)	
	三、怎样区别「より」……………	(15)	
	四、怎样区别「とき、ときに、ときは、とき には」……………	(15)	
第三课	外国語の学び方……………	(20)	86
语法:	一、～にしても……………	(26)	
	二、～そうにもありません……………	(26)	
第四课	言いにくい言葉……………	(30)	55
语法:	一、～からといって……………	(35)	
	二、「という」前后为同一名词结构的含义……………	(35)	
第五课	個性的に生きる……………	(38)	87
语法:	一、「ように思う」和「ように思われる」……………	(44)	
	二、「～(の)ではないかと思う」表示说话人 委婉的陈述……………	(44)	
第六课	公害と健康……………	(48)	100
语法:	一、～を～にする……………	(54)	
第七课	コンピューターの論理……………	(58)	55
语法:	一、形式用言「という」和「といった」……………	(62)	
第八课	ロボットと機械文明……………	(66)	

语法: 一、〽ないとはかぎりません……………	(72)
第九课 科学者と頭……………	(76)
语法: 一、「と思う」和「と思われる」……………	(82)
第十课 都会といなか……………	(87)
语法: 一、「に」格表示的主语……………	(92)
第十一课 機械と人間……………	(95)
语法: 一、〽にみえる……………	(99)
二、〽ざるを得ない……………	(100)
三、〽ことはない……………	(100)
第十二课 母なる大地……………	(103)
语法: 一、文语断定助动词「なる」……………	(108)
二、格助词「に」表示动作或状态的程度和 情况……………	(108)
第十三课 母親は先生なのだ……………	(112)
语法: 一、そうかといって……………	(119)
二、〽はおろか〽さえ(も、まで、すら)……………	(119)
三、〽どころか……………	(120)
四、〽たところで〽ない(まい)……………	(120)
第十四课 自然は自分自身の規則を持っている……………	(123)
语法: 一、副助词「ほど」表示动作、状态的程度……………	(130)
二、〽よう(う)とも……………	(130)
三、〽がゆえに……………	(130)
四、〽は(も)しない……………	(131)
五、文语接续助词「して」……………	(131)
第十五课 スポーツが与える三つの宝……………	(134)
语法: 一、あえて〽ない……………	(140)
二、〽とすれば……………	(140)
第十六课 バスで会ったおばあさん……………	(144)
语法: 一、副助词「くらい」表示状态的程度和同等的	

程度	(152)
二、终助词「の」表示疑问和慎重的断定	(152)
三、终助词「かね」表示委婉的询问	(152)
四、～ところだ	(153)
五、提示助词「でも」表示概举	(153)
六、～に限る	(153)
第十七课 超高層ビルの出現	(156)
语法：一、「以上」的三种用法	(167)
二、～にあたっては	(168)
三、～たうえで	(168)
第十八课 美しさの中に	(170)
语法：一、～までもない	(177)
二、具有他动词性质的「～にする」结构	(177)
三、文语格助词「して」	(178)
第十九课 川と人間	(181)
语法：一、～をはじめ	(191)
二、～はずは(が)ない	(191)
三、格助词「へと」的重叠	(192)
第二十课 思考の基本構造	(195)
语法：一、～にせよ～にせよ	(204)
二、～ことにする	(205)
三、～わけだ	(205)
四、～とする	(205)
第二十一课 美を求める心	(209)
语法：一、表示推测的副助词「か」	(216)
二、由副词「こう、そう、ああ」+「いう」构成 的连体词	(217)
第二十二课 社会とことば	(220)
语法：一、形式体言「こと」的并列用法	(227)

二、	～ずにはいられない……………	(227)
第二十三課	捨てる神拾う神……………	(232)
语法: 一、	～かぎり……………	(239)
二、	～ことになる……………	(239)
三、	～といってよい(いい)……………	(239)
第二十四課	現代文明と人間疎外……………	(243)
语法: 一、	～より～むしろ……………	(250)
二、	～にすぎない……………	(251)
第二十五課	少数意見……………	(255)
语法: 一、	「～たら」表示動作、状态的完结……………	(263)
二、	指示词「それ」的重叠……………	(263)
三、	文语推量助动词「べし」……………	(263)
第二十六課	自然を守る……………	(266)
语法: 一、	～一方だ……………	(276)
二、	接续助词「ては」(では)表示轻微的假定 条件……………	(276)
三、	～ようにと……………	(277)
第二十七課	友情について……………	(280)
语法: 一、	～ほど～ない……………	(287)
二、	必ずしも～わけではない……………	(288)
三、	文语判断助动词「たり」……………	(288)
四、	文语使役助动词「しめる」……………	(288)
第二十八課	高密度社会……………	(291)
语法: 一、	～たびに……………	(304)
二、	接尾词「あたり」和「つき」……………	(304)
三、	～とよい(いい)……………	(305)
四、	～に及ぶまい(及ばない)……………	(305)
第二十九課	発明と発見 = 文化……………	(309)
语法: 一、	～からすると……………	(319)

二、～ことがわかる……………	(319)
三、接尾词「だらけ」……………	(320)
第三十课 思考と論理……………	(324)
语法: 一、～ようとする……………	(332)
二、～ではすまない……………	(333)
三、によって、によっては和による……………	(333)
言葉の索引……………	(338)

第一課

どのようにレポートを書くか

李ばや、「情報化社会」とよばれる現代では、情報の伝達がすばやく、正確に行われるということが強く要求される。

情報の伝達の中で重要な位置を占めるものに、報告がある。一人の人間の活動範囲は空間的にも時間的にも限られているから、ある人が観察したり調べたり考えたりするかわりに、他の人がそれを行って報告することが必要になる。レポートは、この報告の一つであり、ある問題について調査・研究した結果を報告する文章である。

レポートは報告の文章であるから、事実や資料に基づいて客観的に述べるものでなければならない。そのために、まず必要なことは、文章が検証可能な表現をもって いる ことである。

次の文章を読んでレポートの内容と構成について考えてみよう。

レポート

桜井教授は、一章の講義が終わると、いつも レポー

トの宿題を出す。先週は、近代都市の諸問題について十枚程度のレポートを書くという宿題が出た。

ラル君は、その日から三日間、授業のあと図書館に通い、参考書を数冊借りて読んだ。読みながら重要なところをノートにメモした。最近の新聞記事の中にもこのテーマに関係のあるものがあったのでメモをとった。それから、書こうと思うことを簡条書きにしてみた。メモとる、做筆記

一、都市が発達すると、生活環境が悪くなる。

(ア) 空気が悪くなる。(工場の煙や自動車のガス)……健康に悪い。

(イ) 川の水がよごれる。(工場から流した水、家庭の下水) げんじ

(ウ) やかましくなる。(工場や自動車、飛行機などの音)

(エ) 土地が沈む。(工業用、ビルの冷・暖房用の地下水の取りすぎ)

二、都市の発達に対して、遅れて いるもの。

(ア) 住宅、道路、交通機関、水道、下水、公園、電灯、ごみ

(イ) 学校、幼稚園、図書館

(ウ) 病院

(エ) 警察、消防など。

三、都市化に計画がない。

(ア) 人口密度が高くなる。狭い所に住宅が集まる。

(イ) 工場、住宅、商店などの場所が分かれていない。

(ウ) 交通が混乱する。

これで、どのようなことを書くかがだいたい決まった。

まず問題を明らかにする。次に、一つ一つの問題について具体的に論じ、最後にその問題に対してどんなことをすればいいかを考える。そして、レポートの終わりにはもちろん使った参考書をあげる。

このようなことを決めてから、ラル君は下書きを始めた。ちょうど下書きができたところへ、鈴木君が遊びに来た。鈴木君はサークルの友だちである。ラル君は鈴木君に下書きを見てもらった。鈴木君は漢字やかなづかいを少し直してくれた。

ラル君はしめ切りの前の晩に清書を終わった。原稿用紙九枚半になった。

新しい言葉

1. レポート②〔report〕(名)调查报告; 学术报告; 小论文
2. じょうほうかしゅかい④〔情報化社会〕(名)信息社会, 情报社会
3. ようきゅう⑩〔要求〕(名・他サ)要求, 需要
4. いち①〔位置〕(名・自サ)位置; 立场; 地位
5. しめる②〔占める〕(他下一)占据, 占有
6. はんい①〔範囲〕(名)范围, 界限
7. くうかんてき⑩〔空間的〕(形动)空间的
8. じかんてき⑩〔時間的〕(形动)时间的
9. かんさつ⑩〔観察〕(名・他サ)观察
10. けっか④①〔結果〕(名・自サ)结果; 结局; 结实
11. じじつ①〔事実〕(名・副)事实; 实际上
12. もとづく③〔基づく〕(自五)根据, 基于, 按照
13. きゃっかんてき⑩〔客観的〕(形动)客观的
14. のべる②〔述べる〕(他下一)叙述, 说明; 发表; 谈论;

申诉

15. けんしょう⑩〔検証〕(名・他サ)查证, 检验证书, 检认,

对证

16. ないよう⑩〔内容〕(名)内容

17. こうせい⑩〔構成〕(名・他サ)构成, 组成

18. いっしょう①〔一章〕(名)一章

19. こうぎ③〔講義〕(名・他サ)讲义; 讲, 讲解

20. きんだい①〔近代〕(名)近代, 现代, 近世

21. とし①〔都市〕(名)都市

22. しょ〜〔諸〕(接頭)诸……, 各……

23. みっかかん④〔三日間〕(名)三天, 三日, 三天的时间

24. かよう⑩〔通う〕(自五)经常来往; 往来, 通行; 流通

25. さんこうしょ⑩③〔参考書〕(名)参考书

26. 〜さつ〔冊〕(接尾)……册, ……本

すうさつ①⑩〔数冊〕(名・副)几册, 几本

27. テーマ①〔Thema〕(名)主题; 题目

28. かじょうがき⑩〔簡条書き〕(名)分条写出, 列举

29. かんきょう⑩〔環境〕(名)环境

30. けむり⑩〔煙〕(名)烟

31. かわ②〔川〕(名)河, 河川

32. よごれる⑩〔汚れる〕(自下一)脏; 丢脸

33. ながす②〔流す〕(他五)使流动; 流放; 流出; 流传;

洗去

34. げすい⑩〔下水〕(名)脏水; 下水道

35. やかましい④〔形〕吵闹的, 嘈杂的; 严格的; 哄动一时的; 挑剔的

36. しずむ⑩〔沈む〕(自五)沉入; 消沉; 沉沦; 衰弱

37. こうぎょう①〔工業〕(名)工业

38. 〜よう〔用〕(接尾)……用

39. ビル①〔building〕(名)大厦, 高层建筑物
40. れいだんぼう③〔冷暖房〕(名)冷、暖气设备
41. ちかすい②〔地下水〕(名)地下水
42. じゅうたく⑩〔住宅〕(名)住宅
43. どうろ①〔道路〕(名)道路
44. こうつうきかん⑥⑤〔交通機関〕(名)交通工具; 交通设施
45. すいどう⑩〔水道〕(名)自来水; 航路; 河道
46. こうえん⑩〔公園〕(名)公园
47. でんとう⑩〔電灯〕(名)电灯
48. ごみ②(名)垃圾
49. ようちえん③〔幼稚園〕(名)幼儿园
50. けいさつ⑩〔警察〕(名)警察
51. しょうぼう⑩〔消防〕(名・他サ)消防
52. ～か〔化〕(接尾)……化
53. けいかく⑩〔計画〕(名・他サ)计划
54. みつど①〔密度〕(名)密度
55. せまい②〔狭い〕(形)狭窄的
56. あつまる③〔集まる〕(自五)集, 聚; 汇合; 集中
57. しょうてん①〔商店〕(名)商店, 商号
58. こんらん⑩〔混乱〕(名・自サ)混乱
59. あきらか②〔明らか〕(形动)明确; 明亮; 明显
60. ひとつひとつ④〔一つ一つ〕(副)一一地, 一个一个地
61. ろんじる⑩〔論じる〕(他上一)论述; 争论; 讨论; 论
62. おわり⑩〔終り〕(名)终, 終了; 末尾, 结束, 终点
63. したがき⑩〔下書き〕(名・他サ)草稿; 底稿
64. ……ところへ(词组)(前接动词连体形, 表示时间)正当…
…的时候, 刚刚要……
65. サークル①〔circle〕(名)一伙人, 集团, 小组, ……
界; 周围; 圆周

66. かなづかい③〔仮名遣い〕(名)假名用法
 67. しめきり⑩〔締切り〕(名)期满, 截止; 封閉
 68. せいしょ⑩〔清書〕(名・他サ)誊清
 69. げんこうようし⑤〔原稿用紙〕(名)稿紙
 70. はん①〔半〕(名)一半, 半, 奇数

语法解说

一、～かわりに

接续法: 用言连体形 } + かわりに……。
 体言の }

「かわり」是名词。「に」是补格助词。基本概念是“代替”之意。可译为: ①不是……而是。②代替……。③虽然……可是……。④……同时……。

△周さんが行くかわりに、ぼくが町へ行った。／小周没有去, 是我去城里了。

△一人の人間の活動範囲は空間的にも時間的にも限られているから、ある人が観察したり調べたり考えたりするかわりに、他の人がそれを行って報告することが必要になる。／一个人的活动范围因受空间和时间的限制, 有的人未进行观察、研究和思考, 就需要别人进行此项工作并提出报告。

△この辞書は、語彙が豊富なかわりに、大きすぎて、携帯には不便だ。／这个词典虽然词汇丰富, 但是太大, 带着不方便。

二、～てくれる

「～てくれる」通常表示该动作、行为是为“我(们)”做的。称之为内向性。但是, 它也具有外向性的作用。即句中主体(或说话人)站在“第二人称”或“第三人称”立场上, 把“你”或“他”视为“我方的人”。有时, 说话人和“第二人称”只在暂时时

間内处于同一立场，也使用「～てくれる」。

△ラル君は鈴木君に下書きを見てもらった。鈴木君は漢字やかなづかいを少し直してくれた。／ラル君让鈴木君看了草稿。鈴木君给他稍微改了改汉字和假名用法。

△花子の友人，美智子が次郎を紹介してくれた。／花子的朋友美智子把次郎介绍给她(花子)了。

△わたしは，この近所の者ではないので，知りません。あそこに遊んでいる子どもなら，詳しく教えてくれると思いますが。／我不是这儿的人，不知道。你要问问在那边玩的小孩，我想他们会详细告诉你的。

△ピエール＝キュリーは，マリーのために物理化学学校の実験室の一つを借りてくれただけでなく，仕事の上でも，いろいろと助言し，励ましてくれた。／皮埃尔·居里不仅为玛丽借了一间理化学校的实验室，而且在工作上也多方为她出主意，勉励她。

はげしく. 建議, 忠告, 改善.
練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。依汉字注と漢音何々。

清書	下書き	簡条書き
記入	記事	混乱
觀察	警察	調査
情報	友情	構成
検証	講義	客観的
範圍	用件	原稿用紙
占める	限る	基づく
通う	通る	通じる

二、平仮名に漢字をあてなさい。

でんたつ
すいどう

ひうのち
はったつ
げすい

ちかすい

しょうぼう

げんしょう

けんしょう

みつど

けいかく

いち

くうかん

三、まるうめ。

1. 重要な 位置○ 占める。
2. 事実や 資料○ 基づく。
3. 宿題○ 出る。
4. 宿題○ 出す。
5. 授業の あと 図書館○ 通う。
6. 重要な ところ○ ノート○ メモする。
7. テーマ○ 関係○ ある 新聞記事。
8. メモ○ とる。
9. 都市化○ 計画○ ない。
10. 問題○ 明らか○ する。

四、おきかえ。

1. 「情報化社会」と よばれる 現代
① 二十世紀 ② 日本 ③ アメリカ
④ 世界 ⑤ 未来 ⑥ 時代
2. 情報の 伝達が すばやく、正確に 行われるということ
とが 強く 要求される。
① 調査した 結果を すばやく 報告する
② 範囲を 限る
③ 事実に 基づいて 客観的に 述べる
④ 正義を 守る
⑤ 環境の汚染を 絶やす
3. 都市が 発達すると、生活環境が 悪くなる。
① 水が よごれる ② 工場を 建てる
③ ビルディングを 建てる